

第1学年西組 図画工作科学習指導案

学習指導者 造田 朋子

1 題材 「動きを線で表そう ～ローラーころころ～」

2 題材について

(1) 育成したい「思考力」と学びに熱中する子どもの姿

【育成したい「思考力」】

線の形や色等から感じたことを友達と伝え合い、表し方の違いや特徴を捉える力

自分や友達が表示したさまざまな線の形や色に興味をもち、それらから感じたことを基に、どのような動きを表しているかを想像し、その動きや感じたイメージを友達と伝え合うことで、虫等の動きでも同様に、表し方の違いや特徴を進んで見つけようとしている。

【学びに熱中する子どもの姿】

本題材では、ものが動いた軌跡をローラーを使って線で表す活動をする。対象となるものの実際の動きに注目したり、どのように動くのか想像したりしながら、軌跡を線の形や色で表して見えるようにしていく。子どもたちは、自分が描いた線や友達の線を見て、感じたことを伝え合う。その際に、形や色を視点として話すようにすることで、同じ1本の線でも、その形や色から受ける感じ方が人によって違うことから、自分と友達が描いた線の形や色の違いや特徴を捉えていく。例えば、「これはおたまじゃくしだよ」「青いから、池でによろよろと泳いでいるところかな」「水だから青にしたんだ。くねくね曲がっているところだよ」「僕は同じような曲がった線を描いたけど、形がちょっと違うね」等と表し方の違いを捉えていく。さらに、表し方の違いから「この曲がった線はによろよろして見えておもしろい」等と、表し方の特徴を捉えていくのである。

色や形という造形的な視点を獲得し、線の形や色を工夫して描いた子どもたちは、「自分の線を紹介したい」「友達はどんな形や色の線を表したか見たい」「線の工夫をたくさん見つけたい」という思いをもち、互いに線を見せ合うだろう。自分の線を友達に見せながら、「これは朝顔の動きだよ。どうしてだと思う」「線がぐるぐる巻きだね…赤い花がぐるぐるとたくさん咲いているのかな」「これは蔓がぐるぐると支柱に巻き付いているところだよ。でも、花にも見えるんだね」と、描いた線の形や色から身近なものをつなぎながら見方を増やしたり、「この線はザリガニだよ」「赤くてぎざぎざだから、ザリガニのはさみみたいだからかな」「そう。ザリガニのはさみが動くと、ぎざぎざになりそうだからね」「ザリガニのはさみは、ざらざらしているし、ぎざぎざがぴったりだね」と、形を身近なものに見立てて話したりする。このように、自分が表そうとしたものと身近なものをつないだり見立てたりしながら、鑑賞していく。鑑賞後には身の回りのものを見る際にも、形や色についての視点をもって見ようとするだろう。このような姿が、学びに熱中する姿である。

(2) 新たな問題を共有する場を位置づけた題材構成について

本学級の子どもたちは、作品を見せ合い、さまざまな表し方やそのよさを見つけるという鑑賞への関心は、まだ高くない段階である。そのため、事前の質問紙調査を見ても、35名中33名が図工が好きと答えているものの、友達に自分の絵を見せたくない子どもは14名、友達の絵にあまり興味がない子どもは12名いる。また、授業中の発言からも、ほとんどの子どもが「本物みたいな作品が上手な絵」と感じていて、上手でないものは見せたくないし、あまり見たくないという思いをもっている様相がある。さらに作品を鑑賞する際に、「この形が～」「ここの色は～」等、形や色を意識した感想を言える子どもは20名で、これから造形的な視点を獲得していくことが必要である。

そこで、自信をもって鑑賞できるようにするため、鑑賞の仕方を身に付けられるように題材を構成する。初めは教師が子どもの感じたことを取り上げて造形的な視点を示し共有する鑑賞の時間を取り、次は教師と一緒に視点を見つけて鑑賞する時間を、更には子どもたちが視点を基に主体的に鑑賞する時間

を取るというように、徐々に難易度を上げていく。繰り返し鑑賞を設定することで、形や色の視点から見て感じたことを話せばよいという見通しをもつことができ、「自分の線の形や色の工夫を見てほしい」「どうして友達はその線の形や色にしたのか知りたい」等と思うようになり、自信度を高められる。そして、自分と友達の感じ方や表し方の違いや特徴を捉える鑑賞の中で、「自分のカナヘビのによる線は、友達と話したら他のものにも見えそうだよ。この線は、他に何の生き物に見えるか話したいな。」「同じ線を違う色で描いたら、違うものにも見えないかな」「見る向きを変えても見方が変わるよ。もっと友達の線を見て話したいな」等という思いをもつだろう。それらを表出させ新たな課題を設定し、その解決を通して、1つの線でも見方や色を変えると感じ方が変わることに気付かせることで、身の回りのものも、形や色の視点からさまざまに見方を変えようとする子どもを育てることができると考える。

(3) 題材計画と学習意欲への働きかけ (総時数 5時間)

次	主な子どもの意識および学習の流れ	学習意欲への働きかけ
第一次	<p>① ボールを転がしながら、動きを線で表そう</p> <p>ボールに色を付けて転がし、軌跡を線で表す楽しさを味わう。色を灰色に限定することで線の形のみに着目し、さまざまな形の表し方に気付く鑑賞会を行う。その後灰色ではなく鮮やかな色を使いたいという思いをもつ。</p> <p>② ボールの動きをいろいろな線の形や色で表そう</p> <p>鮮やかな色でボールの動きをローラーの線で表す。実際の動きだけでなく、想像した動きからさまざまな線の形を描く。前時の灰色の線と見比べて、鮮やかな色の感じを知り、色で表すよさに気付くための鑑賞会を行う。他のものでも形や色を工夫して表したいという思いをもつ。</p> <p>③ いろいろなものの動きを、線の形や色を工夫して表そう</p> <p>生き物等の動きを、ローラーの線で形や色を工夫して表す。その線の形や色から、どのような動きを表しているか見せ合いたいという思いをもつ。</p>	<p>①②【関】【異同の明確化】</p> <p>無彩色と鮮やかな色の線とを比較することで、同じ線でも色が変わると、受ける感じも変わることに気付く、色についての関心を高める。</p> <p>③～⑤</p> <p>【目】【動きいろいろコーナー】</p> <p>生き物等の動きが分かるような絵や写真から、その動きを想像したり、想像した動きを実際に体を動かして確認したりして、どのような線で表せるかの見通しがもてるようにする。また、描いた線を見る際にも、その線の動きを想像して実際に動いてみることで、線の形への関心を高められるようにする。</p>
第二次	<p>④ 線の形や色の工夫をたくさん見つけ合おう</p> <p>(本時4/5)</p> <p>何のどのような動きを表した線か伝え合う鑑賞会を行い、友達との感じ方の違いや形や色の工夫に気付くことで、もっといろいろな線を見たいという思いをもつ。</p> <p>「自分のによる線は、友達と話したら他のものにも見えてきた。他にも何に見えるかもっと話したいな。」「同じ線を違う色で描いたら、違うものにも見えそうだよ」「見る向きを変えても見方が変わるね。もっと友達と線を見せ合いたい」等の新たな問題を共有する。そして、次時に鑑賞会を開き、みんなで線の形や色の工夫を見つけ合おうという課題を設定する。</p>	<p>----- 振り返りの場面 -----</p> <p>②④⑤【見つけたよカード】</p> <p>友達と話すことで、自分がよいと思う線をどれだけ見つけられたかをカードに書き、誰のどんな線がよかったか発表し合うことで、協働のよさを感じられるようにする。</p>
第三次	<p>⑤ 鑑賞会をして、線の形や色の工夫をもっと見つけ合おう</p> <p>大きな画用紙に描いた線を体育館に広げ、俯瞰的に見合いながら、線の形や色から感じたことを話す鑑賞会を行い、表し方の特徴を捉えていく。</p> <p><評>線の形や色から感じたことを伝え合いながら、自分と友達の感じ方の違いに気付く、表し方の特徴を見つけている。</p>	

3 本時の学習指導

(1) 目標

描かれた線がどのような動きを表しているか等を想像し、思いついたことを伝え合いながら、感じ方や表し方の違いから、線の形や色の工夫を見つけようとするができる。

(2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識
<p>1 前時の学習を振り返り、線の形や色の工夫を見つけ合う学習課題を確認する。</p>	<p>前の時間からカナヘビの動きを表しているよ。青いカナヘビがにょろにょろと動くところを、大きくてにょろにょろした形の線で描いたから見てほしいな。みんなの線の工夫も知りたいな。</p> <p>線の形や色を見て、線の工夫をたくさん見つけたいな。</p>
<p>線の形や色の工夫をたくさん見つけ合おう</p>	
<p>2 どのような動きを表しているか想像し、伝え合う鑑賞会を行う。</p> <p>自【動きいろいろコーナー】</p> <p>(1) ペアで伝え合う。</p> <p>(2) 鑑賞して感じたことを全体で交流する。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 22%;"> <p>カナヘビの動きを描いたよ。</p> <p>そうか。にょろにょろ線は波に見えるね。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>形がなみなみだから、こんな感じの動きかな。青いから波にも見えるね。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>私はザリガニを描きました。逃げる時に何回も跳ねているところだよ。</p> </div> <div style="width: 22%;"> <p>赤いぎざぎざ線はザリガニのはさみがこんな風に上や下に動いているのかな。</p> </div> </div> <p>同じ線でも、友達は自分と考えたことが違うから、もっと友達の話聞いて、線の形や色の工夫をたくさん見つけたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は、あの黄色でかくっと曲がった形の線は竜に見えたけど、○さんは雷に見えたんだね。この形の線っていろいろに見えるね。 ・私はザリガニが跳んで逃げるところを赤いぎざぎざ線で描いたけれど、反対から見ると蛸の足にも見えるんだ。向きを変えたら、もっと別のものに見えそうでおもしろいな。
<p>(3) 鑑賞活動の振り返りをする。</p> <p>振【見つけたよカード】</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>まねしたい線を3つ見つけた。カナヘビのにょろにょろ線は、別の生き物にも見えそうだからいろいろな色で試して、何に見えるか友達と話したいな。</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>まねしたい線をたくさん見つけたよ。いろいろな色のかくかく線を描いて、いろんな向きで見てみたい。どんなものに見えるか友達にも見てもらいたいな。</p> </div> </div> <p>描いた線をみんなで見せ合って、また工夫を増やしたいな。</p>
<p>3 鑑賞で見つけたよいと思う表し方を試しながら製作する。</p> <p>自【動きいろいろコーナー】</p>	<p>魚もにょろにょろ線と同じような動きだから、青や赤を使って重ねて描いたら海の中みたい。友達にも見せたいな。</p> <p>このかくかく線は、赤くして蛸の足を想像したよ。でも反対向きで見ると、王冠みたいになる形だね。友達は何に見えるか話したいな。</p>
<p>4 本時を振り返り、次時へつなぐ。</p>	<p>友達と見合ったら、同じ線でも感じ方が違うから、線の工夫がたくさん見つかるよ。次の鑑賞会でももっと話したいな。</p>

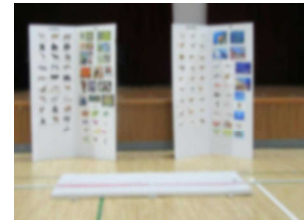
(3) 本時の詳細

前時までの子どもの意識 学習活動 1

前時までには子どもたちは、ボールの動きの線の形や色から、何かのものに見立てる等して、線の工夫をたくさん見つけている。前時は、身近な生き物等の動きを線で表しながら、「友達と話して、線の工夫をたくさん見つけたいな」「形や色の工夫を見つけて自分の工夫にしたいな」という思いをもっている。それらを表出させ、本時の課題を設定しておき、本時の初めに確認する。

学習活動 2

まず教師が、前時までの鑑賞で「友達と話したら、ボールの動きの線の形や色の工夫をたくさん見つけられて、自分の工夫も増えてよかった。もっと増やしたい。みんなは先生と同じ気持ちかな。」と問いかける。子どもたちも賛同すると予想されるので、その後、どのように工夫を増やしていくのか、鑑賞の仕方を全体で例示する。まず、見せる側がこれは「ザリガニの動きです」と言い、見る側に「どうして？」の札を示しながら、「どうしてでしょう」と問いかける。見る側は、線の形や色から感じたことを基に、どうしてその動きになったかを想像して答えていく。また、「ザリガニ」だけれども、別のものに見えたことを話してもよいという、本時の鑑賞の仕方を確認する。この時、同じ線でも人によって感じることや見えるものが



【動きいろいろコーナー】

違う方が、いろいろな形や色の工夫を見つけれられることを確認する。そうすることで、相手が自分と違う感じ方ををしていることを認め合う、受容的な雰囲気での鑑賞会ができるようにする。また、その線の形や色から、どうしてその動きになったのかを想像するために参考になる写真等を見たり、実際に動いて試したりできる場所を設け自【動きいろいろコーナー】、必要に応じて、そこで動きを確認しながら話してよいことを示す。ペアでの鑑賞の後、全体で見つけた線の形や色の工夫を交流することで、さまざまな工夫を共有し、自分のまねしたいと思う工夫を増やせるようにする。

全体交流の後、友達と話すことで、自分がよいと思う線をいくつ見つけられたかをカードに書く振

【見つけたよカード】。誰のどんな発言や描いた線をよいと思ったのかを全体で発表し、友達との感じ方の違いから線の形や色の工夫がたくさん見つかったことを共有し、協働のよさを感じられるようにする。この後、見つけたたくさんの工夫を使って線を描いて、また友達と見合ったら、もっともっと工夫が見つかりそうだという思いをもたせるようにし、製作と鑑賞への関心を高めていく。

うごきまねをせんであらわそう ～さくらあ ころころ～
★ みつけたよ かあど ★

1ねん ()	くみ ()	ほん ()	なま ()
じぶん	ともだち	ほなして	みつけた
「ほなしたいね」「かいてみたいね」と	「かいてみたいね」と	「かいてみたいね」と	「かいてみたいね」と
1つ	2つ	3つ	4つ
2	3	4	5
「ほなしたいね」「かいてみたいね」と	「かいてみたいね」と	「かいてみたいね」と	「かいてみたいね」と
1つ	2つ	3つ	4つ
4	5	6	7
「ほなしたいね」「かいてみたいね」と	「かいてみたいね」と	「かいてみたいね」と	「かいてみたいね」と
1つ	2つ	3つ	4つ
5	6	7	8

【見つけたよカード】

学習活動 3

子どもたちは鑑賞会で見つけた工夫から描きたいものの線を描く。必要に応じて動きいろいろコーナーに行って自【動きいろいろコーナー】、どんな動きをするか想像を膨らませたり、動きを試したりしながら考えられるようにする。子どもたちは線を描きながら、「友達がこの線を見たら、何と云ってくれるかな」という思いをもって製作をしていこう。

学習活動 4

自分が想像したものの動きをどんな形や色で描いたらいいと思ったのかや、友達と見せ合ってまた工夫を増やしたい等の思いを発表させ、次の鑑賞会への意欲を高める。

(4) 総括的評価

描いた線の形や色から、表しているものの動きを想像したり、別のものに見立てたりして、それらを友達と伝え合いながら、線の違いや形や色の工夫を見つけている。




<例>僕は、カナヘビの動きを青のよろよろ線を表したよ。友達とは動きが違っていたのでおもしろかったよ。青いヘビにも見えるんだって。他の人は、この線を何と言うか聞いてみたいな。

【方法：描いた表現物、発言、行動観察、見つけたよカード】

うごきをせんであらわそう ~ろうらあ ころころ~

★ みつけたよ かあとど ★




1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()

じかん	ともだちと はなして みつけた すてきなせんは どのぐらい あるかな？
2	「まねしたいな」「かいてみたいな」と おもう、 <u>せんのかたちや いろの くふうを</u> ・・・  1つ 2つ 3つ 4つ 5つ みつけたよ！
4	「まねしたいな」「かいてみたいな」と おもう、 <u>せんのかたちや いろの くふうを</u> ・・・  1つ 2つ 3つ 4つ 5つ みつけたよ！
5	「まねしたいな」「かいてみたいな」と おもう、 <u>せんのかたちや いろの くふうを</u> ・・・  1つ 2つ 3つ 4つ 5つ みつけたよ！

うごきをせんであらわそう ~ろうらあ ころころ~

★ みつけたよ かあとど ★

1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()

じかん	ともだちと はなして みつけた すてきなせんは どのぐらい あるかな？
2	「まねしたいな」「かいてみたいな」と おもう、 <u>せんのかたちや いろの くふうを</u> ・・・  1つ 2つ 3つ 4つ 5つ みつけたよ！
4	「まねしたいな」「かいてみたいな」と おもう、 <u>せんのかたちや いろの くふうを</u> ・・・  1つ 2つ 3つ 4つ 5つ みつけたよ！
5	「まねしたいな」「かいてみたいな」と おもう、 <u>せんのかたちや いろの くふうを</u> ・・・  1つ 2つ 3つ 4つ 5つ みつけたよ！

